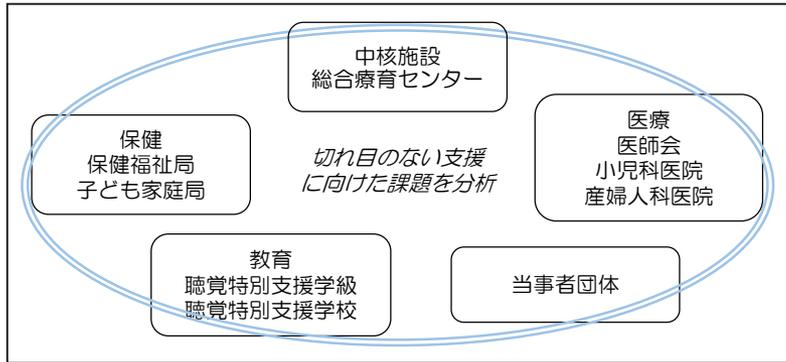


# 北九州市聴覚障害児支援中核機能モデル事業

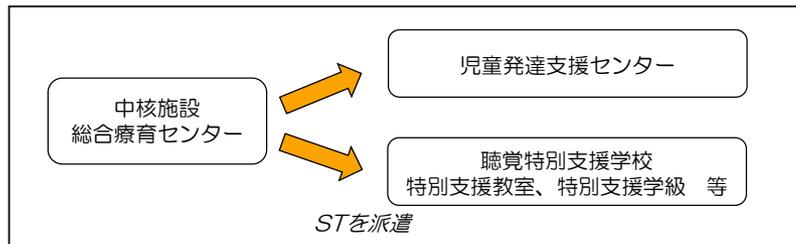
## 1 北九州市聴覚障害児支援協議会の設置



「北九州市聴覚障害児支援協議会」の設置により、関係部局の連携を強化する。

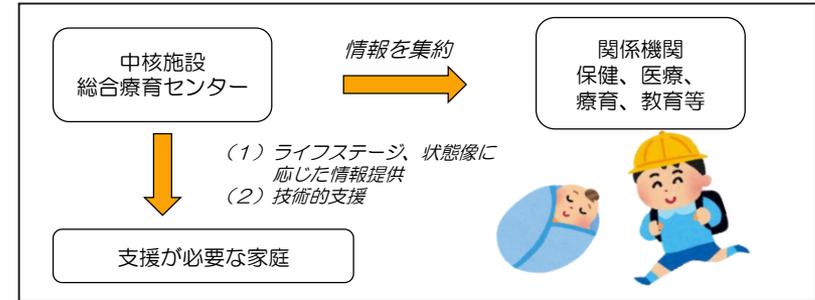
※構成員は、医師会・産婦人科・耳鼻咽喉科・小児科・新生児聴覚検査精密機関・療育（SRC）・教育（小倉聴覚特別支援学校、特別支援学級）・当事者家族（行政から、保健福祉局・子ども家庭局）

## 2 聴覚障害児支援の関係機関との連携



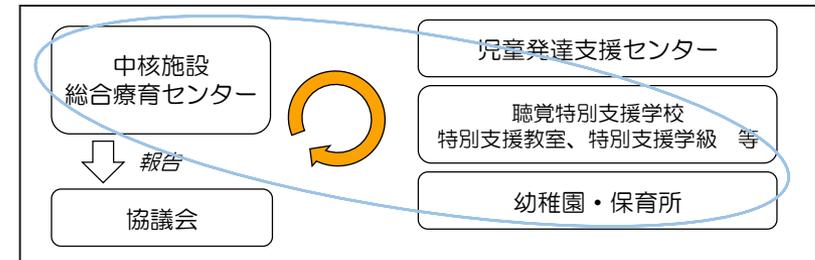
- (1) 各関係機関（児童発達支援センター、聴覚特別支援学校・特別支援教室・特別支援学級等）に定期的にSTを派遣し、意見交換から連携の現況を把握し、課題を整理する。
- (2) 各関係機関が、障害児やその家族へ提供する情報の過不足を調査（家族へのアンケート等を実施）、協議会で共有することで、情報提供内容の向上を図る。

## 3 家族支援の実施



- (1) 協議会のネットワークを利用して各関係機関が有する機能を把握し、聴覚障害児家族の個々の状態（ライフステージ、状態像）に応じて適切な情報提供、コーディネートを実施する。
- (2) 聴覚障害に関する知識の提供、補聴手段、聴覚管理やことば・コミュニケーション等の療育、保護者の相談に対して、直接的な支援等を実施する。

## 4 巡回支援の実施



聴覚障害児が通う児童発達支援センター、聴覚特別支援学校・特別支援教室・特別支援学級、幼稚園・保育所等を巡回し、スタッフに対し該当児童の状態像に応じた支援の方法を情報提供する。また、現状の課題を把握し、協議会で分析、情報を共有する。

## 5 聴覚障害児の支援方法に係わる研修の実施

聴覚障害児支援に従事するスタッフに対し、支援方法に係わる研修を実施し、支援技術の向上を図る。

# 北九州市聴覚障害児支援中核機能モデル事業 令和3年度事業報告書

＜参考資料＞事業実施風景

## 【特別支援教室・特別支援学級・通級指導教室担当教員向け研修(オンライン開催)】



## 【令和3年度第1回北九州市聴覚障害児支援協議会(オンライン開催)】

